

# TIM- $\mu$ Type

## 冷媒溶解粘度測定装置

高温、高圧時の粘度測定が可能になりました。

### ■特徴

1. オートクレーブ内の高温、高圧時の粘度測定が可能です。
2. 上フタに取り付けた粘度計をフタごと交換することにより、異なるレンジの粘度が測定可能です。
3. 窓付容器のため内部の様子が観察できます。
4. 恒温槽による加熱方式のため安定した温度制御が可能です。

当社は先端技術開発の各種支援機器の製作を通じ、新素材の研究や、環境保護関連にも貢献できるように努力しております。

### ■仕様

圧力容器本体

設計圧力：	5MPa
設計温度：	150℃
試験圧力：	7.5MPa
容器容量：	1400ml
加熱方式：	恒温槽（温度範囲 -40℃～+150℃）

粘度測定レンジ： 0.5～100cp  
（0.5～10cp, 5～100cpセンサー交換による）  
上フタ2枚付（レンジ別センサー）

粘度センサー

耐熱温度：	MAX180℃
耐 圧：	MAX7MPa
材 質：	本体 SUS-316 ピストン SUS-430
精 度：	粘度 ±2.0%（読み値）* 温度 ±0.5℃

計測時間： 1.3～26秒

\*日本工業規格校正液を基準にした際の精度



特定フロンの全廃をめざした2010年に向け各関連分野において、代替冷媒の実験がなされています。本装置も粘度計の取り付け個数や容器容量など、研究者各位のテーマにあわせた改良、改善を加えることも可能です。例えば容器底部にレンジの違う3種類のセンサーを取り付けて一度に広い範囲の粘度を測定することも可能です。また、潤滑油関係だけではなく、オートクレーブを用いて疑似的にコンプレッサーや冷凍サイクル内の状況を作り出して、冷媒そのものやコンプレッサーに関連したモーターコイル、電極等の研究にも応用していただける装置、システムの設計、製作も行っております。